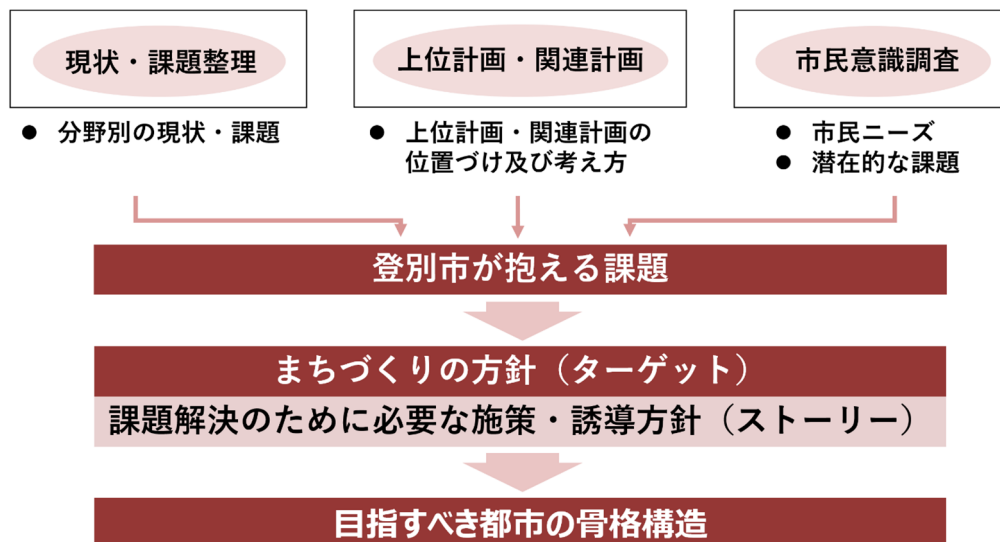


3章 まちづくりの方針と目指すべき都市の骨格構造

1. 設定の流れ

登別市におけるまちづくりの方針と目指すべき都市の骨格構造を設定するにあたり、これまで示した「登別市の現況と課題」「まちづくりに関する市民意識」に加え、上位計画・関連計画による「市が目指すまちづくりの方向性」を踏まえて設定しました。



設定の流れイメージ



2. まちづくりの方針

登別市のまちづくりの方針について、次のとおり設定しました。





3. 目指すべき都市の骨格構造



登別市都市計画マスタープランの将来都市構造「山辺・海辺・川辺に囲まれたコンパクトな多核連携都市」との整合性に留意し、鷺別地域、幌別地域、登別地域においてコンパクトな市街地を形成するために、主要な鉄道駅や幹線道路を中心に都市拠点（=核）を設定し、それらが公共交通により連携した都市（=多核連携都市）を目指します。

なお、登別温泉地域については、市街地の大部分が土砂災害警戒区域等に指定されており、災害リスクが高い地域であることから都市拠点には設定しませんが、観光を基幹産業としている本市の重要な地域であるため、本計画において「観光・文化交流拠点エリア」として位置づけ、地域の特徴を踏まえた整備を図り、誰もが安全・安心に滞在できる地域を目指します。

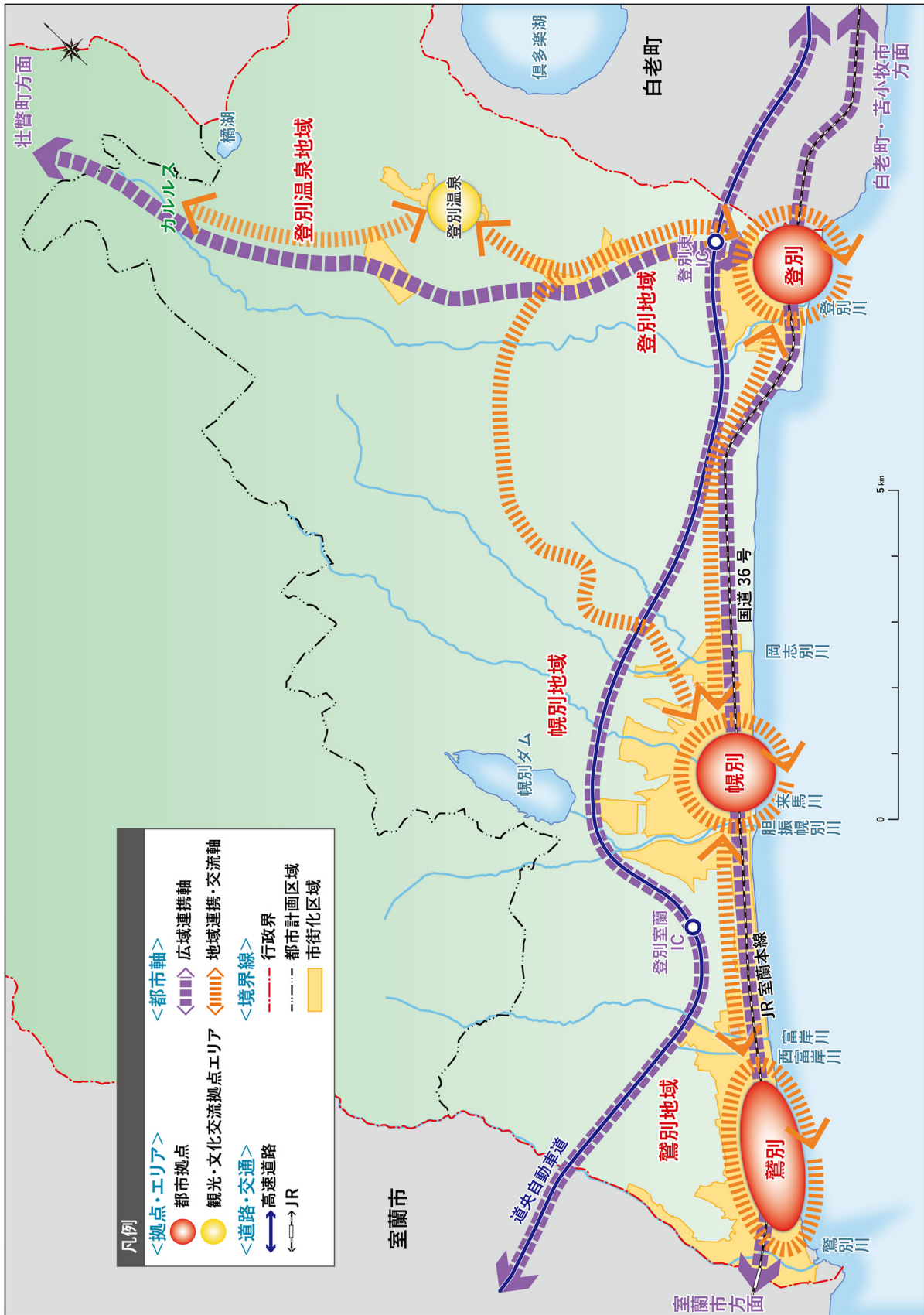
【都市軸】

<p>広域連携軸</p> 	<p>海岸沿いに形成されてきた鷺別地域、幌別地域、登別地域を貫き、室蘭市や白老町などと結ぶ道央自動車道、国道 36 号、道道洞爺湖登別線、JR 室蘭本線を「広域連携軸」として位置づけ、登別市の生活や産業、広域的な交流・連携を支える骨格的な都市軸を形成します。</p>
<p>地域連携・交流軸</p> 	<p>鷺別地域、幌別地域、登別地域、登別温泉地域のほか、登別市内各地区を結ぶ、国道 36 号、JR 室蘭本線、道道上登別室蘭線、道道登別室蘭インター線、道道弁景幌別線、道道洞爺湖登別線、道道倶多楽湖公園線を「地域連携・交流軸」として位置づけ、分散した登別市内各地域の生活や観光・交流を支える都市軸を形成します。</p>

【拠点・エリア】

<p>都市拠点</p> 	<p>各地域の日常的な生活を支えるため、医療、福祉、商業、教育、交流などの身近な生活利便機能を集積させた拠点です。</p>
<p>観光・文化交流拠点エリア</p> 	<p>登別市内外から広く来訪者を呼び込み、ふれあい・交流による賑わいを生むエリアです。</p>

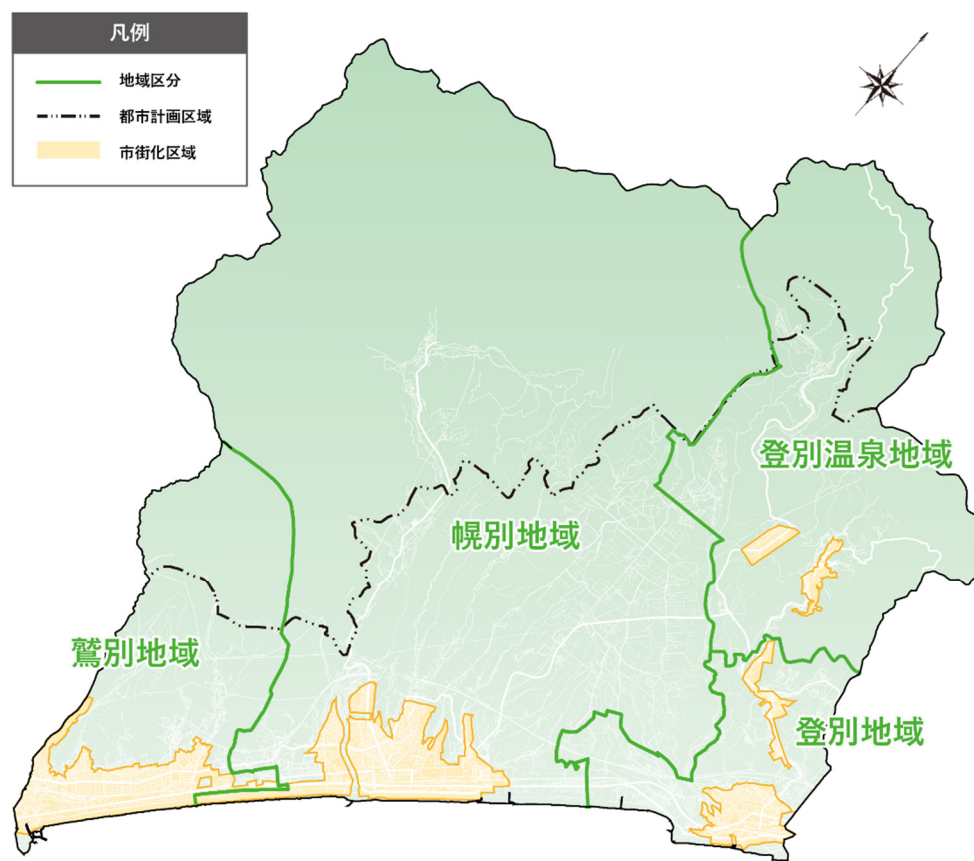




目指すべき都市の骨格構造

4. 地域区分

本計画における地域区分を次のとおり示します。



地域区分の内訳

鷺別地域	鷺別町、栄町、美園町、上鷺別町、若草町、新生町、富岸町、若山町
幌別地域	幌別町、幸町、新栄町、大和町、中央町、常盤町、柏木町、片倉町、新川町、富士町、千歳町、来馬町、札内町、青葉町、緑町、桜木町、鉾山町、川上町
登別地域	登別本町、登別港町、登別東町、富浦町、中登別町
登別温泉地域	カルルス町、登別温泉町、上登別町

